

グローバル・リベラルアーツ副専攻

グローバル地域文化学部 2018年度生 Aさん

1. グローバル・リベラルアーツ副専攻を履修しようと思った理由をお聞かせください。

入学前からリベラルアーツ教育に関心があったことに加えて、留学生と交流しながら英語で教養科目が学べる副専攻英語開講科目や、キリスト教や建学の歴史等が学べる同志社大学ならではの科目に魅力を感じて履修することに決めました。

2. グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目での学びについて、感想をお聞かせください。

1, 2年生の頃は多くの留学生と共に学ぶことができ、授業中にグループに分かれてディスカッションを行いました。科目自体がレベル分けされていたとはいえ、当時の私にとってはリスニングもスピーキングも楽ではありませんでした。もっと流暢に話したい、聞き取れるようになりたいというモチベーションの維持向上に繋がりました。

3, 4年生時はコロナのこともあり、ディスカッションは少なくなりましたが、担当の先生と英語でコミュニケーションを取ることができ、大変有意義な時間でした。

3. この副専攻では、副専攻英語開講科目に加えて、幅広く教養科目を履修してもらいます。副専攻英語開講科目以外の教養教育科目についての感想や、印象に残った科目についてお聞かせください。

「自然・人間科学系科目」の中から、遺伝子や細胞について学ぶことのできる科目を取りました。この分野の科目は恐らく副専攻を履修していなければ登録を検討することがなかったと思いますが、結果としてそれまでに無かった視点で物事を考えられるようになり、履修できて本当に良かったと思っています。

4. 在学生へのアドバイスやメッセージをお願いします。

幅広い分野について学ぶことは、視点を広く持ち、様々な角度から物事を考える力をつけることに繋がりますし、副専攻英語開講科目では、日本にいながら留学しているような環境で学ぶことができます。ぜひこのプログラムを活用して大学での時間をより充実したものにしてください。副専攻英語開講科目は抽選になることが多いので計画的な履修をお奨めします。

実際に履修された
受講生の声を
紹介します!



グローバル地域文化学部 2018年度生 Bさん

1. グローバル・リベラルアーツ副専攻を履修しようと思った理由をお聞かせください。

- ① 目標を持って取り組める点、形に残る結果（成果）が出せる点に魅力を感じました。
- ② 留学せずとも、外国人留学生とともに学ぶことができる数少ない貴重な機会だと思いました。

2. グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目での学びについて、感想をお聞かせください。

英語を学ぶのではなく、英語で学ぶことが難しくもあり、勉強にもなりました。留学生とのディスカッション形式の授業を通して、積極性が身につくと同時に、日本文化や歴史のポイントを再認識することができました。就職活動の面接時には、副専攻英語開講科目での経験（留学生との協働やプレゼンなど）が、とても役立ったと感じています。

3. この副専攻では、副専攻英語開講科目に加えて、幅広く教養科目を履修してもらいます。副専攻英語開講科目以外の教養教育科目についての感想や、印象に残った科目についてお聞かせください。

「生命の科学1」・「科学史・科学論1」・「心理学2」の3つの科目がとても印象に残っています。私はグローバル地域文化学部という文系学部には所属していますが、高校時代は理系分野にも興味がありました。そのため、一つ一つの授業が面白く、興味深かったことに加え、私の卒業論文にもその知識を活かすことができました。現在のコロナパンデミックによって、ワクチンや世界の医療システムに大きな注目が集まっていますが、その部分と関連している内容も多くあり、非常に勉強になりました。

4. 在学生へのアドバイスやメッセージをお願いします。

コロナ禍で期待していたような学びや交流が難しくなっていると思います。そのような状況でも、「大学生活の中で形に残る結果を得たい人」、「幅広い（文系、理系）知識の習得に魅力を感じる人」にこの副専攻はぴったりだと思います。大変なこともあるかと思いますが、頑張ってください。

